



(本部) 〒732-0013 広島市東区戸坂南1丁目27番2号
 Tel (082)229-7005 Fax(082)229-7008
 URL:https://koukyou.or.jp/

第一・第二きつつき共同作業所

交響が社会福祉法人としてスタートした事業所です。それまでの小規模作業所から「ゆめつくろう」を合い言葉に、地域で働き、地域で暮らす社会福祉法人交響の願いを少しずつすすめています。

1997年開所 '07年生活介護事業所(国庫補助)



自主製品の開発は、小規模作業所時代から「その人にあった仕事」をキャッチコピーに探しています。
 きつつき共同作業所は、ふきんやお菓子づくりなど、重い利用者を念頭に生産活動を実施しています。

きょうさんふきんは、自主製品第一号



愛されて35年
 手づくりクッキーは
 ずっとレシピを見直し
 ながら…。もちろん、
 安全・安心・衛生環境を徹底して、製造
 販売をしています。

きつつきと言えば「お菓子」



千羽鶴は平和の祈りが込められて
 世界中から届きます。
 再生して、メモ用紙や絵はがき、
 付箋などに変わり、販売されます。
 丁寧な仕分けが求められます。

平和の千羽鶴を再生します

うぐいす共同作業所

広汎性発達障害(自閉症など)や重度の知的障害の方を中心に専門的な支援を学び実践しています。また作業だけでなく、余暇活動など一人ひとりにあった活動で「笑顔」のサポートをしています。

2004年開所 '08生活介護事業所(JKA助成)



いっしょにつくろうね…

工場などで使うウエス(使い捨てぞうきん)をつくります。複数の会社にお買い上げ頂き、重い障害のある人も仕事を通じて社会参加をしています。



仲間の笑顔のなかまつり

外出もままならない状況では、「きつつき」と一緒にイベントを企画して、非日常を楽しむこともあります。
 利用者の笑顔がスタッフのやりがいにつながります。



集団活動が苦手な人もいます。一人ひとりにあった企画を実施します。
 みんなはひとりのために…
 実践は本人の理解や笑顔につながるようにツールなどを活用します。

Bakey Cafe' SOAR

「普通のOLさんのように働きたい」「もう少し給料がほしい」「働くのは街がいいなあ…」そんなあたりまえの願いを叶えるために、広島駅北口でパン屋さんを営業しています。

2013年開所 就労継続B型事業(国庫補助)



いらしゃいませ♪

広島駅北口という立地もよく、みなさん公共交通で通っています。
 店舗も明るく…
 いらしゃいませ〜の聲が響きます。



パン職人としてがんばります

ボードには、今日の仕事・これからの仕事が、本人の特性に応じて分かりやすく掲示しています。
 仕事時間の集中力もたいせつです。



すでにベテランの利用者さんは、サンドイッチやカスクートなど、温度管理された製造室を使っでの作業もあります。
 カスクートは大人気商品です。

交響ホーム(グループホーム)

社会福祉法人を設立するときの大きな願いが「暮らしの場」を地域につくろう…でした。今では、6ヶ所の家庭的なグループホームがあり、利用者の暮らしのサポートをしています。



- ▶ 清風台ホーム(男性)
- ▶ 戸坂第一ホーム(男性)
- ▶ 戸坂第二ホーム(女性)
- ▶ 生活支援センター「i(アイ)」(女性)
- ▶ あけぼのホーム(男性・第三作業所併設)
- ▶ 戸坂山根ホーム(男性・スタッフ本部)



女性ホームは、作業所や職場から帰るとみんなでおつかれさまの飲みものを頂きます。

スタッフも「おつかれさま」と疲れを癒やす言葉で迎えます。



ホーム利用者による交流会では、趣向をこらしたイベントをおこないます。

笑顔でイベントを楽しみます。最近ではリモート交流も実施しました。



休日など余暇活動は、ホーム以外の人たちもいっしょに外出を楽しむ人もいます。(移動支援事業)

家族の介護力が減ってくるととても大事な時間になっています。

きつつき第三作業所

精神の障がいのある方や暮らしの支援が必要な方たちが、安心して暮らせるように、利用手続きなどが簡単にできる、敢えて「地域活動支援センターⅢ型」を実施しています。

1999年開所 地域活動センターⅢ型



お菓子箱の組立作業です

途中で障害を持つことは、「生きづらい」ことも多くあります。
 下請け作業なども取り入れています。朝起きて、仕事に来て、食事をする…こういった規則的な生活をすることで、社会復帰をめざします。



自主製品は納豆製造販売

国産大豆を使った「手づくり納豆」大豆の味が残り、とてもおいしいとリピーターもたくさんです。
 衛生に気を配り、丁寧に仕事をする緊張感もたいせつなりハビリです。



体を動かすこともたいせつ

精神の障害を抱えると運動不足になりがちです。
 せまい作業室ですが、理学療法士といっしょに軽い運動をすることを楽しみながら行うこともあります。

生活介護事業所 和音(わおん)

障害の重い人たちを中心に自閉症や知的障害の方たち一人ひとりにあった発達支援をおこないます。また、医療的ケアの必要な重症心身障害のある人たちへの法人として、はじめての支援を実施します。

2022年開所 生活介護事業所(国庫補助)



一人ひとりの障害特性に配慮した作業・活動環境づくりを実施して、落ち着いた居場所となるようにします。



作業に集中できる環境づくり

看護師2名の配属と理学療法士の指導により、入浴サービスや特別食による昼食を実施しています。
 余暇もできるだけ、楽しい企画にアイデアを出し合います。



できるだけ楽しい時間を



特殊浴槽を完備

東区障害者基幹相談支援センター

2019年 広島市 受託事業



福祉サービスの利用相談

- ▶ 計画相談支援
 - ▶ 障害者基幹相談支援
- 一般相談を受付けています。必要な場合は、訪問することもあります。



医療と暮らしをつなぎます

看護師による
 医療的ケア児者支援
 コーディネートも受託
 しています。



法人の公益的取り組みとして地域福祉コーディネーターを配置。スタッフも22名が認知症サポーターです。

あなたに会えてよかったとおもひ合える支援を…



社会福祉法人 交響

あなたに会えてよかった… そんなふうに おもい合える支援を
Over the moon to work with you.

はじまり… since1979

「わたしは夢がほしいのです。」
私たちの事業所に通う知的障がいのある
利用者のことばです。
1979年（昭和54年）
障がい児によろやく義務教育がはじまりました。
しかし、次は養護学校卒業後に
いくところがない…
という現実が立ちはだかりました。
きつつき共同作業所は、障がいが重くても
卒業後に「働きたい」「行き場がほしい」との
障がいのある人とその家族の
強い願いから1981年（昭和56年）に
誕生しました。
さまざまな活動を行いながら1997年（平成9年）
身体障がい者・知的障がい者
通所授産施設（合築）定員40名を開所しました。
そこから、今の事業展開が大きく広がりました。
30年以上が過ぎ、障がいのある人たちの制度は、
大きく変わりました。
当時は考えられなかったような
ショートステイやガイドヘルプ、ホームヘルプ…
etc.
しかし、本人や家族が
「暮らしの安心を手に入れたか…」と
問われると果たして…。

ともに

ともだち・恋人・仲間たちから言われていちばん嬉しい言葉はなんでしょうか。
それは、「あなたに会えてよかったよ。」という言葉だとおもいませんか。
人は自分一人で自分の存在価値を知ることはできません。
スタッフも利用者や家族に「あなたに会えてよかったよ。」と言える支援
利用者や家族にそうおもってもらえる支援、スタッフ同士、利用者同士がそう感じることができる仕事…
「障がいのある人、家族とともに…」 そういう仕事をしたいとねがっています



KOUKYOU